

モーセ⑦ みおしえの確認と誓約

□モーセの信仰の手本

聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。(申6:4~5)

□前回までの振り返り

1. バラムの事件：イスラエルは旅を続け、ヨルダン川の東、「モアブの草原」に宿営した。このとき、モアブの王はミディアン人と組んで、呪術者バラムを招き、イスラエルを呪わせようとした。主はバラムに呪いではなく、祝福のことばを語らせた。
2. ペオルの事件：呪いをかけることに失敗したので、今度はミディアン人が策略を立て、それをモアブの娘たちに実行させた。これにより多くのイスラエル人がモアブの偶像の神バアル・ペオルを拝んでしまい、主の罰により2万4千人が死んだ。その後の人口調査により、前回の調査時からの生き残りはヨシュアとカレブだけと判明。38年前のカデシュ・バルネア事件で、主は、そのときの世代の人々の中から約束の地に入ることのできるのは、エフライム族ヨシュアとユダ族カレブの二人だけになると言われた。そのことばのとおりとなった。
3. メリバの水事件により、モーセも約束の地に入ることはできない。モーセの死期が近づいた。モーセには最後の任務がある。任務の内容を大きく分けると3つ。
 - ① 確認する：シナイ契約（モーセの律法）の確認をし、民の前に、律法の「祝福とのろい」を置く。主と民との誓約に立ち会う。
 - ② 預言する：約束の地に入ってからでもイスラエルは不従順を重ね、ついには、律法ののろいを受けて、世界離散するであろうと預言する。
 - ③ 別の契約を与える：しかし、主は、アブラハム契約の約束に基づき、必ずイスラエルを回復してくださる。そのことを明確にするために、シナイ契約（モーセの律法）とは別の契約（土地の契約）を民に与える。
4. 申命記は、モーセが最後の任務を果たしたことの記録。
 - (1) 1章から4章40節：モーセは任務にとりかかる前に、荒野の旅を回想し、これから語ることの **全体像** を示した。申命記のいわば序文というべき部分。
 - (2) 4章41節から43節：「逃れの町」を指定した。
 - (3) 4章44節から：①確認する、②預言する、③別の契約を与える、という最後の任務に進む。1章から4章40節までの全体像で語られたことが、4章44節から再び語られているのは、そのためである。
5. 本日は、第一の任務「確認する」、申命記4章44節から26章まで。

□モーセ⑦ みおしえの確認と誓約（申4章44節～26章）総論・各論・誓約の順

1. 総論：「聞け、イスラエル」で始まる3つのテーマ【契約・主・イスラエル】

(1) 語り出し

申4：44～45 これは、モーセがイスラエルの子らに示したみおしえである。これらはさとしと掟と定めであり、イスラエルの子らがエジプトを出たとき、モーセが彼らに告げたものである。

(2) 総論① ホレブ（シナイ山）での契約（申5：1～6：3）

申5：1～2 モーセはイスラエルをみな呼び寄せて、彼らに言った。**聞け、イスラエルよ**。今日、私があなたがたの耳に語る掟と定め。これを学び、守り行いなさい。私たちの神、主はホレブで私たちと契約を結ばれた。

(3) 総論② 主は私たちの神、主は唯一である（申6：4～8：20）

申6：4～5 **聞け、イスラエルよ**。主は私たちの神。主は唯一である。あなたは心を尽くし、いのち（たましい）を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

- **力を尽くして**・・・マタイ22：37では「**知性**を尽くして」

深い知恵

仕事や任務などで情熱をもって勤勉、絶えず努力すること

マタイ22：36～40 「先生、律法の中でどの戒めが一番重要ですか。」イエスは彼に言われた。「『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが、重要な第一の戒めです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二も戒めも、それと同じように重要です。この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」

(4) 総論③ この良い地に入れるのは、イスラエルが正しいからではない（申9：1～11：25）

申9：1 **聞け、イスラエルよ**。あなたは今日、ヨルダン川を渡って、あなたよりも大きくて強い国々を占領しようとしている。その町々は大きく、城壁は天に高くそびえている。

申9：4 あなたの神、主があなたの前から彼らを追い出したとき、あなたは心の中で、「私が正しいから、主が私をこの地に導き入れ、所有させてくださったのだ」と言ってはならない。これらの国々の邪悪さのゆえに、主はあなたの前から彼らを追い出そうしておられるのだ。

(5) 祝福とのろい (申 11：26～30)

申 11：26～28 見よ、私は今日、あなたがたの前に祝福とのろいを置く。祝福とは、私が今日あなたがたに命じる、あなたがたの神、主の命令に聞き従った場合であり、のろいとは、あなたがたの神、主の命令に聞き従わず、私が今日あなたがたに命じる道から外れて、あなたがたの知らなかったほかの神々に従って行った場合である。

- 祝福とのろいの内容は、第二の任務「預言する」にて示される。

(6) 総論の結びのことば (申 11：31～32)

申 11：31～32 あなたがたはヨルダン川を渡り、あなたがたの神、主があなたがたに与えようとしておられる地に入って行って、それを所有しようとしている。あなたがたがそこを所有し、そこに住むとき、私が今日あなたがたの前に与える、すべての掟と定めを守り行わなければならない。

2. 各論(1) 語り出し

申 12：1 これは、あなたの父祖の神、主があなたに与えて所有させてくださった地で、あなたがたがその土地に生きるすべての日々に、守り行わなければならない掟と定めである。

(2) 礼拝の仕方 (申 12：2～32)(3) 偽預言者などへの対処 (申 13：1～14：2)(4) 食物規定 (申 14：3～29)(5) 七年の終わりごとに負債の免除 (申 15：1～18)(6) 牛と羊の雄の初子について (申 15：19～23)(7) 祭り (申 16：1～17)(8) 裁判及び諸規定 (申 16：18～26：15)3. 誓約 (申 26：16～19)

(1) モーセが主と民の間に立って仲介し、主からの命令を民に伝える

申 26：16 今日、あなたの神、主は、これらの掟と定めを行うように、あなたに命じておられる。あなたは心を尽くし、いのち（たましい）を尽くして、それを守り行いなさい。

- あなた・・・イスラエルの民全体を指す

(2) 民が誓約する

申 26：17 あなたは今日、この主をあなたの神とし、主の道に歩み、主の掟と命令と定めを守り、御声に聞き従うと誓約した。

- イスラエルは 4 つの誓約を宣言した
 - ① 主をイスラエルの神とします
 - ② 主の道を歩みます
 - ③ 主の掟と命令と定めを守ります
 - ④ 主の御声に聞き従います

(3) 主が誓約する

申 26：18～19 今日、主は、あなたに約束したとおり、あなたが主のすべての命令を守り主の宝の民となること、あなたを、主が造られたすべての国々の上に高く上げて栄誉と名声と栄えとし、約束のとおり、あなたが、あなたの神、主の聖なる民となることを誓約されたのである。

- 主は 4 つの誓約を宣言していた
 - ① イスラエルを主の民、宝とする。主がイスラエルに言ったとおり。
 - ② イスラエルはすべての主の命令を守るものとする
 - ③ イスラエルを、主が造られたすべての国々の上に高く上げる。称賛において、名において、栄光において。
 - ④ イスラエルは、イスラエルの神、主にとって聖なる民となる。主が言ったとおり。
- あなたに約束したとおり・・・エジプトを出て第三の月（6 月）、39 年 9 カ月前に、シナイ山で主がモーセを通してイスラエルの民に、次のように約束を与えた。

出 19：5～6 今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中にあって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。

□本日の確認のための設問

モーセは、3 回「聞け、イスラエル」と呼びかけて、次の 3 つのことを語りました。この中で、イエスがモーセの律法の中で「重要な第一の戒め」と言ったのは、どれでしょう。

- a. これを学び、守り行え。私たちの神、主はホレブで私たちと契約を結ばれた。
- b. 心を尽くし、たましいを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛せよ。
- c. あなたは心の中で、「私が正しいから、主が私をこの地に導き入れ、所有させてくださったのだ」と言ってはならない。